

# 甲府市議会だより

第 137 号

平成15年 5月 1日

編集・発行  
甲府市議会だより  
編集委員会  
電話(235)7054  
甲府市議会事務局



(玉諸小学校)

## 平成15年度甲府市一般会計予算などを 可決・同意

3月定例会

三月定例会は三月二日に招集され、会期を二十四日までと決定し、市長から提案された平成十五年予算、条例制定及び一部改正、平成十四年度補正予算、人事案件、専決処分等について審議しました。

七日、十日及び十一日の三日間は質疑及び市政一般質問が行われ、九人の議員が当局の考えをいただきました。

十二日の常任委員会では、本会議で付託された案件について審査が行われ、十三日の本会議で各常任委員長より委員会審査の結果の報告を受け、当局原案のとおり可決するとともに、収入役等の選任に同意しました。

新年度にかかわる予算・条例案については委員十八名からなる予算特別委員会を設置して、細部にわたっての審査が行われました。

最終日の本会議では、予算特別委員長から審査結果が報告され、討論、採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決しました。このほか、常勤の特別職等の報酬の減額、及び議員提案による議員報酬・政務調査費の減額等の条例案を可決し、今定例会を閉会しました。

主な内容・ページ

三月定例会の要旨	1
三月定例会の動き／審議日程	2
市政質問／質問要旨一覧	3
市政質問	4・5
予算特別委員会審査の主な内容	6・7
討論／請願・陳情審査結果／人事案件	8
市長所信表明	9
議案審議結果	10

# 三月定例会の動き

## 三月三日(月)

定例会初日は、諸報告を行い、会議録署名議員の指名及び会期を決定した後、市長より提出議案全部に対する提案理由の説明と所信表明があり、この日の日程を終了しました。

## 三月七日(金)

議案調査のため三日間休会後、再開した本会議では、新政クラブの代表質問から始まり、まちなかの賑わい創出、少子高齢化への取り組み、小学校の統廃合等について市の考えをただしました。

## 三月十日(月)

質問二日目は、冒頭三月九日に逝去された故小沢綱雄議員に黙祷をささげ、追悼の辞を送った後、公明党の代表質問が行われ、市民

## 三月十一日(火)

質問最終日は政友クラブの一般質問が行われ、中心市街地への集合住宅の建設、庁舎と住民サービス、甲府商科専門学校のあり方等について市の見解を求めました。

次に公明党の一般質問が行われ、高齢者と障害者の外出支援策、出産祝い金及び保育所・幼稚園の無料化に向けた助成制度の導入、夜間・休日における小児医療の改善等について市の見解をただしました。

この対話、対話重視による市政運営への決意、「日本一親切・丁寧で明るい市役所」の実現等について市の見解を求めました。

代表質問は最後に日本共産党が行い、低所得者に対する介護保険料の軽減措置基準、乳幼児及び重度心身障害者の医療費窓口無料化、留守家庭児童会の運営等について市の考えをただしました。

この日の三人目からは一般質問に移り、新政クラブが地域特性を踏まえた行政の推進、市街化調整区域の開発、小学校の適正規模・適正配置等について市の考えをただしました。

質問で、小学校の適正規模・適正配置、中心市街地活性化に向けた事業展開、中心市街地活性化の一体的な推進等について市の考えをただしました。

新年度予算及び関係条例は委員十八名からなる予算特別委員会を設置して付託、専決処分、補正予算、請願については常任委員会に付託されました。

その後、市長から追加議案に対する提案理由の説明を受け、これについても常任委員会に付託しました。

この日本会議は休会で、各常任委員会が開催されました。

この日は各常任委員長から委員会審査の経過と結果についての報告を受けました。

総務委員会では、収入役の選任、監査委員の選任、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任について、全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。平成十四年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算、同特別会計への繰入金を含む平成十四年度一般会計補正予算の二案を反対意見はあったものの当局原案のとおり可決することとなりました。また、公営キヤンブルによる街づくりはしない都市宣言を求める請願は不採択とするものと決しました。

民生文教委員会では、平成十四年度甲府市一般会計補正予算について、児童福祉費減額の要因の一つに人事院のマイナスイラストがあることで反対との意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済建設委員会では、平成十四年度一般会計補正予算等四案件について全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道委員会では、平成十四年度甲府市一般会計及び下水道事業会計の補正予算について全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

この間は予算特別委員会が開催されました。(後段参照)

定例会最終日は、予算特別委員長から報告を受け、討論、採決の結果、平成十五年度予算案、関係条例案はいずれも当局原案のとおり可決されました。

また、追加提案された特別職の常勤の職員及び教育長の報酬を引き下げる議案について全員異議なく可決し、また、議員提案により、議員の報酬及び政務調査費を引き下げる等の三件の議案が提出され、全員異議なく可決されました。

この後、各常任委員長より申し出のあった閉会中の継続審査及び

### 三月定例会審議日程

3月3日(月)	開会、提案理由の説明
4日(火)	議案調査のため休会
5日(水)	議案調査のため休会
6日(木)	議案調査のため休会
7日(金)	本会議、質疑及び市政一般質問
8日(土)	本会議、質疑及び市政一般質問
9日(日)	本会議、質疑及び市政一般質問
10日(月)	本会議、質疑及び市政一般質問
11日(火)	本会議、質疑及び市政一般質問
12日(水)	各常任委員会
13日(木)	本会議、各常任委員長報告
14日(金)	予算特別委員会
15日(土)	休会
16日(日)	休会
17日(月)	予算特別委員会
18日(火)	予算特別委員会
19日(水)	予算特別委員会
20日(木)	休会
21日(金)	休会
22日(土)	休会
23日(日)	休会
24日(月)	本会議、予算特別委員長報告、閉会

調査について決定し、三月定例会は閉会となりました。

# 市政 質問



(要旨掲載)

## 行政課題への対応は (新政クラブ)

【問】今日、地方では個性ある知事や市長が大胆な改革を展開しています。

知事や市長は住民のリーダーであり、政策の転換を唱えて果敢に新たな挑戦をしております。

トップによって政策が変わる、これこそ地方の改革を生み出している住民意識の変化です。都市・地方を問わず既成政党に満足していない住民が多数を占め、自らの地域の利益は自分達で決めようとする住民の意欲が地方政治における新しい潮流であり、まさに地方の時代への希求であります。

そのような中で、甲府市でも市民が多くのご願いをもって新市長を選びました。市長は、「わの都甲府」実現を掲げ、二十一世紀の住民のリーダーとして、山積する行政課題の解決に向けた決意の程を

お伺い致します。

【答】市長に就任した今、これまで私を育み夢と希望を託してくれた市民の皆様のため、また甲府市のために明るい未来が予感でき、心豊かに暮らせる都市を実現したいと決意を新たにいたしましたのであり、本市をどのような都市にしたのかという明確な将来ビジョンの提示と、市民・生活者の目線で物事を考える市政の実現、そして時代の変化に即応した着実な変革と、安全で安心な市民生活の確保であると認識しているところであります。

こうした期待に違ふことなく誠心誠意応えることが市民の付託を受けた市長の責務であり、そのためにも対話を重視し、広く市民の意見を市政に反映する住民参加型の市政運営に努めながら、「政治の大道を愚直に歩む」ことこそ市長としての私の使命と心得、市民福祉の向上と地域全体の振興に心血を注いでまいる所存であります。

## 庁舎建設についての 基本的姿勢について (政友クラブ)

【問】本市の分散しているいずれの庁舎も老朽化が進み、大規模災害が発生した場合には、防災無線の設備を始め、災害対策本部としての機能を全うできるとは思えないのであります。市民の利便性や業務の効率の悪さを考えた時、そこから発生する目に見えない余計な時間や労力の損失は、積み重なると大変なものとなっていると思えます。

こうした事を改善することは、間接的に経費の削減につながる筈です。また、災害時の対応は、行政の最も基本的な仕事であること考えた時、新庁舎の建設は出来るだけ早い時期に取り組むべき課題と認識しておりますが、考えをお聞きしたいと思います。

【答】現在の本庁舎は昭和三十六年に建設され、以来四十年余りが経過しており、この間市民ニーズの多様化や行政需要の増大に対応するため、組織機構が見直され、庁舎の分散や統合など紆余曲折を経ながら現在に至っております。このような状況から、議会及び市民の皆様から老朽化、狭隘化、分散化などによる非効率性や利便

### 平成15年3月定例会質問要旨

氏名	所属	質問の要旨
依田 敏夫	新政クラブ 代表質問	行政課題への対応について まちなか居住再生事業等の取り組みについて 中核市構想と人口増加対策について
森沢 幸夫	政友クラブ 代表質問	今後の市政のあるべき姿について 行政改革への取り組み姿勢について 庁舎建設についての基本的姿勢について
宮川 章司	日新クラブ 代表質問	行政運営の基本的な考えについて 北部地域の振興について 新山梨環状道路の整備見直しについて
秋山 雅司	公明党 代表質問	県との連携について 市政モニターについて 本庁舎窓口サービスの休日開設について
加藤 裕	日本共産党 代表質問	小規模工事登録制度について 制度融資について 高齢者医療費助成制度の堅持について
桜井 正富	新政クラブ 一般質問	地域特性を踏まえた行政の推進について 地方税の滞納対策について 市街化調整区域の開発について
細田 清	政友クラブ 一般質問	中心市街地への集合住宅の建設について 中心市街地の活性化について 庁舎と住民サービスについて
中山 善雄	公明党 一般質問	高齢者の路線バス無料化について 小中学生及び高校生への公共施設の無料開放について 女性専門外来の設置と女性医師による相談窓口の整備について
中込 孝文	社会民主党 一般質問	政治姿勢について 行政の透明度について 住民投票制度の創設について



性の面から、市民サービスの低下、災害時における中核拠点としての機能不全などが、折に触れ指摘をされてきたところであり、行政を執行する上で重要かつ喫緊の課題と認識し、また、新庁舎は最も期待をされている施設のひとつではないかと考えております。

このようなことから、様々な調査研究を行い、財政的な裏づけや議会や市民の皆様の理解が得られた段階で、推進の一步を踏み出してまいりたいと考えております。

### 新山梨環状道路の整備見通しは

#### (日新クラブ)

【問】甲府東部地域は、西関東連絡道路建設・新山梨環状道路北部区間の建設計画並びに東部区間の計画・和戸竜王線の市街地区への建設など、交通の要衝としての重要な役割を持ち、甲府市の都市形成の基本をなす、といっても過言ではないと考えます。

新山梨環状(北部地域)は、地域住民に路線計画が具体的に説明され、一部反対運動はあるものの大多数の地域住民が中心となり東部・相川・羽黒・千塚地区に、建設推進のための住民組織が結成され、早期着工に向けた運動が展開されているところであります。

北部区間の着工の見通しと、東部区間の計画の現状と見通しはどのようなものかお伺いします。

【答】新山梨環状道路北部区間は、明かり区間となる桜井町、塚原町、羽黒町付近に一般道と接続するインターチェンジを設ける事が明らかにになり、今後P.E方式により意見や提言を求め、環境影響評価や都市計画決定を行い事業着手となりますが、環境影響評価は、調査に一年ないし二年が必要で、東部区間は、県において道路調査を行っておりますが、ルート等の選定が大きな課題となります。

北部区間では、本道路を活用した土地利用やまちづくり及びアクセス道路の実現に向け、地域との連携を密にすることが重要であり、東部区間も、西関東連絡道路との接続や南部及び西部区間での整備状況を勘案すると早期整備による均衡ある都市発展が喫緊の課題でありますので、更なる取り組みを行ってまいります。

### 本庁舎窓口サービスの休日開設は

#### (公明党)

【問】宮島市長が市民に公約した五項目中四項目については、今議会に何らかの形で実現しようとしており、市長の実行力を高く評価

するものであります。

ただ一つ、休日の市役所オープン、働く人や生活者のリズムにあつた市役所を構築、の項目については何らふれておりませんが、「日本親切」な市役所の中に含まれているのであれば何月から開設されるのでしょうか。これから検討されるとしたら、早急に実施できる体制を構築し、生活者本位のサービスを開始し、「市役所も中心市街の一店舗」の役割を果たせるよう望むものですが、市長のお考えをお答え願います。

【答】週休二日制の普及や共働き世帯の増加、女性の社会進出などの時代背景を踏まえ、生活者本位のサービス実現と、更に「市役所も中心市街地の一店舗」の視点に立ち、賑わいのあるまちづくりの一助として、新たに四月から本庁舎一号館一階フロアにおいて日曜日にも窓口を開設してまいります。開設にあたりましては、戸籍・住民票の写し等の証明書の発行、チャイルドシートの貸出し、国民健康保険料の収納等三課二十八項目の取り扱い業務を行ってまいります。

また、市民への周知につきましては、四月号の市広報誌やホームページに掲載してまいります。なお、平成十年十月から日曜日に開設しております青沼窓口サービスセンターにおきまして、引

き続き実施してまいります。

### 制度融資について

#### (日本共産党)

【問】売上が減少している業者にとつて融資の月々の返済額が少なくなれば、経営を安定させることができず。

政府は借り換え融資制度を新設しましたが、対象が限定されているため民間銀行から多額の融資を受けている業者はメリットがありません。中小企業を守るため、国制度を補完する、借り換えを行える制度を作ることをお願いします。

また、十万、二十万の運転資金が足りないために店じまいをする業者があります。三十万円程度を上限として難しい審査を必要とせず、すぐ貸し出しができる緊急の融資制度を創設し、同時に、専門家の協力を得て経営相談、経営指導を行って、市内零細業者を破綻から救っていき、親身になつた対策を求めます。当局の見解はいかがですか。

【答】中小企業の経営環境は、デフレの進行により非常に厳しい状況にあり、国は「資金繰り円滑化借換保証制度」を本年二月に創設し、本市も本保障制度への対応は緊急の課題と認識し、現在、実施に向け検討をしています。緊急の融資制度は、現在小規模

企業者小口資金において無担保、無保証人、保証料全額補助により平均一週間程度での融資が可能となっており、今後も利便性を高めることにより緊急性のある資金への対応に努めます。独自資金は、同資金の動向をみながら今後の検討課題とさせていただきます。

### 地方税の滞納対策は

#### (新政クラブ)

【問】現在の景気低迷、経済不況に起因し、市財政を取り巻く環境は悪化の一途をたどっております。

当局も、税収確保のため庁内連絡調整会議等で取り組み、担当職員もチームを組み、前向きに努力していることは周知の通りですが、現状のままの状況が改善されない場合、予算編成に際し、財源に不足を生ずることとなります。

滞納整理は、行政が取り組まなければならぬ仕事であり、全職員が一丸となって取り組みなければならぬ課題であり、滞納額を効果的に回収するアイデアとともに、行政組織としての強い意志と

実行力が求められています。どのような取り組み方針を検討されているのか、お伺い致します。

【答】市税収入の確保は最大の課題であり、課税・収納部門が一体となつて税収確保、収入未済額縮減に努め、本年度も休日・夜間における電話催告、臨戸徴収を実施、新たな取り組みとして催告状配布に併せて納税指導を行い、一定の成果が得られたところであります。

また悪質と思われる滞納者には差し押さえ等の滞納処分を行うなどの一方、担税力の低下している納税者にはきめ細かな納付相談等を行うとともに、市外・県外滞納者も出張戸別訪問により、徴収や納付指導などを行っており、新たな滞納の未然防止のため、広報誌等を通じ口座振替利用の推進や納税意識の高揚に努めております。

今後は更に、職員の折衝能力を高めるとともに目標収納率の設定や、納税者の利便性を図るための納付機会の拡大、徴収事務の組織の見直しなど収納率向上に全力で取り組んでまいります。

## 中心市街地の活性化について

### (政友クラブ)

【問】甲府市の中心商店街の空洞化が目立ってきております。中心

市街地へ居住していた住民の、郊外への流出など、人口の減少に歯止めがかかっていない現状にもあります。

そこで、人口増対策と多くの人の流れをつくるため、市長が先頭に立って市職員ともども率先して土曜日、日曜日、祭日街へ出るものと考えます。

加えて中心街の現状を認識し、問題点を探り出し、解決策を見出していくことにつながると思いますが、いかがか伺います。

【答】新しい発想や問題解決の方向は、多くの市民との出会いと対話の中から生まれてくるものと考えております。

私も、中心商店街の空き店舗八店舗で開催された現代美術「こころふ展」を過日訪れましたが、このように、私自ら地域におもむき、直接、意見要望をお聞きしたり、私の考え方を皆様に伝えることが問題点を探り出し、解決策を見出すことにつながるものと認識しております。

現状の本市中心市街地は、商業の衰退、中心部の居住人口の減少、インフラ整備の問題等が、これまでも指摘されているところでありますが、肌で街を感じ、街に今後、何が必要で、今、何をなすべきかを地元商店街、関係機関をはじめ、多くの方々との対話により

見出すことが、求められているものと思います。

地域の総合力で、魅力と活力のある中心市街地の再生のため、今後も全力を傾注するとともに、職員にも中心市街地へ足しげく足を運ぶよう、働きかけを行ってまいります。

併せて中央商店街への、「市民モニター制度」につきましても検討してまいります。

## 小中学生及び高校生への公共施設の無料開放について

### (公明党)

【問】生徒の公共施設の無料開放問題につきましては、昨年六月議会で取り上げました。

週完全五日制も一年が経ち、休日の生徒の過ごし方が問題視されております。県においては科学館、美術館、文学館、考古博物館などの県施設を土曜日は、小中学生に無料開放を実施いたしました。

本市においても、動物園や環境プラザのプール施設等の有料公共施設を、小中学生に土曜日を無料開放するなどの、環境づくりの促進をする事が義務だと考えますが、見解をお示しく下さい。

【答】子どもたちがゆとりの中で、

様々な体験や活動を通じて、自ら学び自ら考えるなどの、「生きる力」を育むため、平成十四年四月から、完全学校週五日制が導入されました。

本市におきましては、完全学校週五日制の趣旨を踏まえ、子どもたちの自主的な活動や貴重な体験を支援するため、本年四月から遊亀公園附属動物園、リサイクルプラザ、緑が丘スポーツ公園の庭球場と水泳プールにおきまして、毎週土曜日に小学生・中学生・高校生を対象として、施設の無料開放を実施することとし、準備を進めているところであります。

## 住民投票制度の創設について

### (社会民主党)

【問】平成十二年四月の地方分権一括法の施行により地方分権が進められています。

地方分権は、自治体の立場では地域の実情やニーズにあつた行政を行うていくことであり、一方で、住民が自発的、積極的に行政運営に参加し、住民自らが自分たちの地域のことを考え、直接責任によつて自治運営を行うことを考えていかなければなりません。

市民生活に係る重要事項について市民の意思を確認し、民意を市

政に的確に反映することによって、はじめて公正で民主的な市政が推進でき、そのための市民の市政参加の一つとして住民投票制度創設を提言したいと思ひます。考えをお聞かせいただきたいと思います。

【答】社会経済環境の変化に伴い、価値観が多様化し住民の自治に関する意識が高まる中、近年、地方自治体においては、特定の争点をめぐって、賛否が割れる政策課題の方向づけに、住民投票を求める動きが目立ってきております。

このような住民投票は、市民参加の一手法ではありますが、現行の議会制民主主義との関係に留意する中で、住民の将来に直接、重大な利害関係を及ぼすような案件に限定するなど、その取り扱いには慎重に進める必要があると考えております。

本市におきましては各種審議会をはじめ、協議会や市政モニターなどから市政の課題や施策に関する意見や提言をいただくとともに、IT時代に対応してインターネットを通じて電子会議室や「市民の声」ご意見箱により、市民の生の声をお聞きするなど様々な手法により市民参加を得ております。

今後モパブリックコメント制度の導入を行うなど、さらなる市民参加の機会を拡大してまいります。



# 予算特別委員会

## 委員会審査の主な内容



宮川委員長

### 総括質問

市長の政策的な経費を予算化した場合の予算規模  
新規事業や政策予算にかかわる財源として普通交付税の振りかえ



予算特別委員会審査風景

- |             |             |             |             |             |                 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|
| 委員<br>川名 正剛 | 委員<br>堀内 征治 | 委員<br>小野 雄造 | 委員<br>森沢 幸夫 | 委員<br>山村 雄二 | 委員<br>依田 敏夫     |
|             | 委員<br>加藤 裕  | 委員<br>保坂 一夫 | 委員<br>雨宮 年江 | 委員<br>野中 一二 | 委員<br>上田 英文     |
|             | 委員<br>石原 剛  | 委員<br>秋山 雅司 | 委員<br>谷川 義孝 | 委員<br>深沢 芳次 | 委員<br>飯沼 忠      |
|             |             |             |             |             | 委員<br>宮川 章司     |
|             |             |             |             |             | 委員<br>副委員長 細田 清 |

による一般財源扱いの臨時財政対策債、国・県の補助金及び市債など総額三十億円程度を留保しているとの答弁がありました。  
さらに、今後取り組む施策については、新たな発想を取り入れた

地域振興策、市民の命と暮らしを守る施策、産業の再生、創造と地域経済の活力を高める施策、地域全体の均衡ある発展と持続可能な循環型社会の構築を進める施策など、本市発展の礎となるべき施策を中心として重点的に取り組んでいくとの答弁がありました。

財政見直し  
長引く景気不況を反映し、市税収入は今後も減少が見込まれ、また、地方交付税などの交付金も縮減傾向にある一方、医療・介護等に要する扶助費などの社会保障費や都市基盤整備等にかかる社会資本費が増大傾向にあり、歳入歳出構造の乖離は、年々拡大するなど極めて厳しい状況が見込まれるとの答弁がありました。

北部山岳地域振興計画の見直し  
県との訴訟が継続しており、これまでの経緯もあるが、地域住民との意見交換の場を設け、今までのことを踏まえながら新たな振興策も検討していくとの答弁がありました。

奨励的補助金の見直し  
財政健全化への取り組みとして、平成十一年度予算をベースとして、投資効果の再検証をするなかで統合・廃止を含め努力し、平成十四年度決算見込みでは二十二％程度の削減が見込まれる。今後も三か年の削減内容等の検証・見直しを図るなかで引き続き努力していく

との答弁がありました。  
小学校の適正規模・適正配置  
市中心部四小学校の統廃合について白紙に戻し臨むべきではないかとただしたのに対し、適正配置審議会からの答申を基にしたこれまでの案も今後の議論の一つの案とし、地域の方々と新たに話し合い、できるだけ早い時期に、より良い方法を見出していきたいとの答弁がありました。

これに関連し、統廃合の実施時期は平成十七年度にこだわるのかとただしたのに対し、昨年六月に構想案を示した段階での日程で、まだ地元の理解が得られていない状況である。今後新たな話し合いの場を設けるので物理的に困難と考えているが、子供の成長は待ってられないため、できるだけ早い時期に結論を出せるよう努力していくとの答弁がありました。

さらに、適正規模・適正配置の問題と三十人学級導入の取り組みを切り離して進める必要があるのではないかとただしたのに対し、適正規模化は児童数にかかわる問題であり、児童数の多い学校の是正を図る必要もあるため、三十人学級への取り組みと並行して進めていくとの答弁がありました。

### 条例

甲府市介護保険条例の一部改正について

保険料引き上げは、高齢者の負担増となる。介護給付費準備基金や県の介護保険財政安定化基金の利用、一般会計からの繰り入れを行い、保険料の引き上げは行うべきでないとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

甲府市市立の学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正について  
昨年の人事院マイナス勧告の影響で補償基礎額を引き下げるもので反対するとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

### 一般会計予算

歳入について

臨時財政対策債の発行基準及び今後の発行額の推移について、発行基準は国の地方交付税の振替措置に伴い地方財政法第五条により発行しており、発行額の推移については現下の経済不況の動向にもよるがこ一・二年は増加傾向が見込まれるとの答弁がありました。  
総務費について  
住民基本台帳ネットワークシステムの本格稼働に伴い、発行が予定される住基カードへの搭載データ及びセキュリティー対策について、本年八月に発行予定のカード搭載データは、当面住基情報のみ

# 平成15年度 甲府市予算額

一般会計	599億1,665万3千円
特別会計	772億4,429万5千円
総額	1,371億6,094万8千円

とするが、IT推進本部で市立図書館利用証及び市立病院診察券機能等の搭載も検討している。また、セキユリティー対策は、汎用コンピュータによる情報の管理及び専用回線を用いた閉鎖網により、外部からの侵入への防衛措置を施しているとの答弁がありました。

民生費について  
支援費制度については、準備として昨年十一月一日から申請受付を開始し、二月末現在三百九十件の申請があり、この申請に基づき、既に三百三十七件の調査を終え、認定会議で二百九十六件の認定作業を行い、現在、受給者証の交付等の業務に鋭意努力しているとの答弁がありました。

衛生費について  
保健師の数は、現在二十名配置されており当面は各学区に一名を配置していくことが目標であるとの答弁がありました。

との答弁がありました。

労働費について

勤労者住宅資金融資制度の利用状況は、平成十四年度二十四件を融資目標としたが現時点で十六件、平成十五年度も十四年度と同様な件数を見込みながら予算化に努めている。厳しい経済状況のなか住宅需要が伸び悩んでいる状況であるが、本制度の有利な点をより一層PRし、融資促進に努めるとの答弁がありました。

農林水産業費について、

農業センターの運営管理は、現在、各種の果樹・野菜・花卉等の試験研究・各種指導関係業務・農業先端開発事業等を行っており、多くの耕作地を持つ中道町・芦川村・上九一色村との合併を控え、農業センターの果たすべき役割は増大することが想定され、施設の拡充を検討していきたいとの答弁がありました。

商工費について

中心市街地の活性化における行政の役割は、中心市街地活性化基本計画のなかでの位置付けとして、「賑わいを感じさせる街」が整備目標であり、甲府銀座ビルにオギノ出店を要請し、また、TMOの一環として平成十三年三月、環境美化推進事業等二十二事業を認定、その内商店街等活性化事業等六つの事業を進め、今年一月に地域通貨である甲府マネークを発行し、

十四の駐車場業者と六十三の加盟店の協力を得て、中心市街地活性化事業を積極的に推進しているとの答弁がありました。

土木費について

まちなか居住再生事業については、建設費補助を受けて建設された共同住宅は現在までに二件で、補助対象は二十四戸であるとの答弁がありました。

消防費について

具体的な災害を想定した訓練を行うよう、消防本部とも協議を行うなかで指導に努めるべきではないかとたどしたのに対し、市から訓練の重点項目を示し、各地区でそれを参考に特色を活かした訓練を実施している。また、自治会の要請に基づき単位自治会による防災訓練の指導にも対応しているとの答弁がありました。

教育費について

武田氏館跡の整備計画について、試掘調査を平成十五年年度で終了し、その結果などを踏まえ、平成十八年度には計画を策定していくとの答弁がありました。

諸支出金について

開発公社費における当初予算の対前年比減額理由については、土地開発公社所有の未処分土地を甲府市が年次的に再取得し、これに伴い減少したものであるとの答弁がありました。

## 特別会計予算

国民健康保険事業特別会計予算

保険料滞納者への対応は、徴収嘱託職員を配置し、納付相談を行うなかで分納等により解消に努めているとの答弁がありました。

交通災害共済事業特別会計予算

加入手続き等制度運営における自治会への依存性について、検討を求め意見がありました。

住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

償還金滞納者への対応については、未収金の回収は全国担当者研修会への参加等全国的な状況も参考にしながら回収に努めているが、さらに強制執行も視野に入れ、努力を重ねていきたいとの答弁がありました。

老人保健事業特別会計予算

高齢者の負担軽減を図る上からも、委任払いの実施を求める意見がありました。

土地区画整理事業用地先行取得事業特別会計予算

アーバンスタディセンター用地活用について、たどしたのに対し、国の合同庁舎を誘致する計画であるとの答弁がありました。

介護保険事業特別会計予算

保険料の滞納状況について、平成十五年一月三十一日現在で、滞納者総数一千五百九十八人、滞納額は二千九十七万円に及ぶとの答

弁があり、これに対し滞納者の所得階層を分析・把握した上で、要綱に定める減免規定を活用した運営を求め意見がありました。

中央卸売市場事業会計予算

市場経営の撤退については、市場開設に至るまでの経緯を見ると、業界関係者も従来どおり甲府市の直営で継続の強い要望があり、今後、国・県・市場関係者の意見を十分聴取しながら検討していきたいとの答弁がありました。

病院事業会計予算

小児救急医療体制の整備については、現在、小児科医療の充実を図るため山梨大学医学部の小児科の協力を得て診療を行っている。全国的に医師が不足しているが、定数確保に努め、今後は常勤の小児科医師を一名から二名増やすことが救急対応には必要と考えるとの答弁がありました。

下水道事業会計予算

下水道施設の保守点検は、定期的にパトロールを行い緊急度・重要度に応じて補修や布設替えを行うなど効率的なメンテナンスを実施しているとの答弁がありました。

水道事業会計予算

上下水道事業の一体化は、行政改革の観点からのみで上下水道を一体化するのではなく、水道事業の将来を見据える中で検討しているとの答弁がありました。

### 討論(要旨掲載)

#### 平成十五年度予算について

##### 【反対討論】日本共産党

一般会計予算では、歳入において一般会計への消費税転嫁は、国に納入の義務の無いものであり反対します。

歳出では、市町村合併は国からの押しつけによるものであり、住民要求から出発したものではありません。反対をするものです。

同和对策事業費、住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金は、同和对策事業費は不明朗なものであり、根拠法終了後も県の事業として延長する不公正・不公平な事業への繰り出しであり、認めることはできません。

高速交通体系整備費は、市民が反対する新山梨環状道路建設促進のための費用が盛り込まれており反対します。

土地開発公社への貸付金は、実質的に塩漬けとなっている土地の借金の利払いに使われるものであり、反対します。

老人保健事業特別会計は、医療改悪の実施が盛り込まれた予算であり反対するものです。

土地区画整理事業用地先行取得事業特別会計予算は、破綻した計画であるアーバンスタディセンター用地取得のための支出であり反対です。

介護保険事業特別会計予算は、介護保険料の引き上げが盛り込まれ、年金の改悪で収入が減っている高齢者に、さらに追い討ちをかけるものです。基金の取り崩しを行えば保険料引き上げは避けることができ、あえて今回引き上げを行うことに反対します。

【賛成討論】新政クラブ  
一般会計予算は、社会経済環境の変化に伴い、施策体系別の積極的な事業展開が図られています。福祉の向上では、県内で初めて小学生の医療費無料化を制度化し、大変評価するものです。

介護保険では、保険料の軽減制度の拡充、料率改定も将来にわたる安定的な事業運営を確保する中で、適正な設定をしています。

市立甲府病院では、外来化学療法室や放射線治療施設の整備など地域医療充実を図っています。

文化・教育の振興では、情報通信技術を活用した教育を積極的に進めるとともに基礎・基本的な学習を理解し、学習効果を高める上で必要な教材・教具の整備、また、幼稚園教育の振興や保護者負担の軽減を図るため、私立幼稚園就園奨励費補助も推進しています。

生活・自然環境では、「南東部コミュニケーション防災センター」の整備とともに、昨年認可を受けました市街化調整区域の下水道整備にも積極的に取り組み、良好な住環境整備を期しています。

産業の振興では、中小企業の経営基盤の強化に向けた制度融資を推進、中心市街地活性化に向けて総合的な空き店舗対策を講じ、特に行政自ら「こころアルジャン」を開設し、商業関係者との連携の中でさらなるまちなかの賑わいの創出に努めています。

都市基盤の整備では、生活道路の整備は緊急度を考慮して計画的執行を期し、補修、舗装等維持管理にも適切に対応しています。

平成十五年度当初予算では、基金の活用や経費の聖域なき見直しなど、随所に創意工夫をこらしている姿勢が垣間見え、主要な施策には財源の重点配分を行うなど、バランスのとれた市民本位の施策に意を用いており賛成します。

### 請願・陳情審査結果

閉会中継続審査  
・有事関連三法案の徹底審議を求める請願

・甲府市立小学校統合案の白紙撤回を求める請願  
・有事関連三法案の慎重審議を求める意見書提出の請願

・イラク問題の平和的解決を求める請願  
・石和町における最終処分場用地の早期確保を求める請願

・物価スライド凍結解除による年金引き下げに反対する意見書提出の請願

・「医療費三割自己負担の実施凍結を求める意見書」の採択を求める請願

・介護保険制度の抜本的な改善のための意見書提出を求める陳情  
・消費税の増税に反対し、消費税を3%に引き下げる措置を求める陳情

・労働者の雇用、失業、中小企業対策の強化、地域経済の振興を国に要請する「意見書」採択の陳情

・社会保障制度緊急改善要求に向けた国の財政措置を求める陳情  
・看護士から看護士への移行教育についての意見書提出の陳情不採択

・甲府市「公営ギャンブル」による街づくりはしない都市宣言」を求める請願

### 人事案件

本定例会に、収入役の選任、監査委員の選任、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任についての議案が提出され、全員異議なく同意されました。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 収入役           | 志村 文武 |
| 監査委員          | 有泉 正仁 |
| 教育委員会委員       | 奥田 理  |
| 固定資産評価審査委員会委員 | 八巻 力也 |

### 議会を傍聴しましょう

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や審議状況等を直接傍聴することができます。

議会事務局までお問い合わせください。  
次の定例会は六月の予定です。

### 小沢議員逝去

甲府市議会議員小沢綱雄氏は、去る三月九日逝去されました。

十日、本会議の冒頭、故小沢議員に対してご冥福を祈り黙祷を捧げました。市議会を代表して上田英文議員、また



田英文議員、また

宮島雅展市長からも追悼の言葉がありました。  
故小沢議員は、昭和三十四年五月初当選以来十一期連続四十二年十一月にわたり、二度の議長、県政功績者表彰、全国市議会議長会特別表彰、自治大臣感謝状等も受賞されるなど、市政発展のために尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



### 常任委員会の

### 所管事項の変更

市の組織変更に伴い総務委員会中、財務部の廃止に伴い財務部の所管に属する事項を削除し、経済建設委員会中、建設部と都市整備部の統合に伴い部の名称が都市建設部の所管に属する事項に変更になりました。

### 議員の報酬及び

### 政務調査費の減額

「議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」「甲府市議会政務調査費の交付に関する条例」の一部改正が議員提案されました。

内容は、議員の月額報酬を四万円引き下げ、また、議員の政務調査費も月額一万円減額するものです。提案理由の後、採決を行い、全員異議なく可決するものと決しました。

### 常勤の特別職及び

### 教育長の給与減額

市の常勤の特別職の給料月額を市長十万円、助役八万円、収入役六万五千円、常勤の監査委員六万円、水道事業管理者六万五千円を減額し、また、教育長の給料月額を六万五千円減額するものです。

## 宮島市長所信表明



宮島市長は、三月三日開会した三月定例会本会議の冒頭で、所信表明を行い、新市政をスタートしました。所信表明の主な内容は次のとおりです。

私は、多くの市民から温かい御支援をいただき、このたび市長に選出されました。

市長に就任し、その職責の重さと期待の大きさを改めて実感する中で、すべての市民が笑顔をする、すこなく心豊かに暮らせる地域社会を創るため、私心を捨て率先して「公僕」に徹し、全身全霊を傾ける覚悟を深く心に刻んだところであります。

また、地方公共団体は、自らの判断と責任のもとに地域の実情に沿った行政を、従来にも増して自主的かつ総合的に実践していくことが求められてきております。

このように地方分権型社会の進展は、各地方公共団体が自律的に効率的な行政運営を図る観点から、市町村合併の推進など新たな行政システムの創造と体制の整備を必要としております。

の適正な配分に努めながら、市民福祉の一層の向上と更なる地域の振興を最優先に、直面する諸課題の解決に挑戦することこそが、私の使命であり、県都甲府市の更なる飛躍・発展に繋がるものと、認識しているところであります。

そして、次の世代に誇りと自信をもって引き継げるような、夢と希望に満ち溢れた甲府市を創り上げたいと強く念じております。

本市が抱える重要諸課題に対する基本的な考えをいたしまして、中心市街地の活性化対策につきましては、「まちなか居住再生事業」など人口定着に効果が期待される事業を引き続き実施することはもとより、「知識交流センター」開設など、行政と市民がともに手を携え、民の力を最大限に引き出せるような活性化対策を講じてまいりたいと考えております。

小学校の統廃合問題につきましては、中心部四校の問題として捉えるだけでなく、南部地域の規模校の解消も含め、審議会の答申を基に全学的な適正学区のあり方について議論を深めていくことが大切であり、早急に決断し適切に対応してまいれる所存であります。

その際、説明責任を徹底し、私が直接市民に語りかけ声を聞くことができる対話の場を創設し、市民参画と情報公開を基本として市民の理解と協力を求めていきたい

と考えております。

行財政改革につきましては、市民の視点に立ち、「日本一親切・丁寧で明るい市役所」を実現するため職員意識の高揚や市役所組織のスリム化などの改革に取り組み、適材適所による人材を活かした活力ある市役所を創り、高品質の行政サービスの提供、さらに、パブリックコメント制度の導入や徹底した情報公開、客観的な外部評価体制の構築など新たな市民参画の仕組みづくりを進めてまいります。

また、財政運営にあたりましては、受益と負担の関係の明確化や世代間負担の適正化など、将来世代に過重な負担が生じないよう健全財政の維持に努めてまいります。

市町村合併につきましては、現在、法定合併協議会において検討が進められております甲府市・中道町・芦川村・上九一色村四市町村の平成十六年中の合併実現に取り組みながら、引き続き中核市構想の推進に努めてまいります。

平成十五年度当初予算は経常的若しくは継続的な施策・事業に係る経費を中心に、市民・生活者起点による生活に直結したサービスを重視した内容となっております。

なお、新たな視点に立った施策・事業につきましては、皆様のご理解・ご支援を頂く中で随時実施してまいります。

## 平成15年3月甲府市議会定例会議案審議結果

議案番号	件名	付託委員会	議決月日	結果
議案第1号	平成15年度甲府市一般会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第2号	平成15年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第3号	平成15年度甲府市交通災害共済事業特別会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第4号	平成15年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第5号	平成15年度甲府市老人保険事業特別会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第6号	平成15年度甲府市土地区画整理事業用地先行取得事業特別会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第7号	平成15年度甲府市介護保険事業特別会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第8号	平成15年度甲府市中央卸売市場事業会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第9号	平成15年度甲府市病院事業会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第10号	平成15年度甲府市下水道事業会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第11号	平成15年度甲府市水道事業会計予算	予算特別	3月24日	原案可決
議案第12号	専決処分について(平成14年度甲府市一般会計補正予算(第6号))	総務	3月13日	承認
議案第13号	専決処分について(山梨県市町村自治センターを組織する地方公共団体の数の増減について)	総務	3月13日	承認
議案第14号	平成14年度甲府市一般会計補正予算(第7号)	分割	3月13日	原案可決
議案第15号	平成14年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	民生文教	3月13日	原案可決
議案第16号	平成14年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	総務	3月13日	原案可決
議案第17号	平成14年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算(第5号)	民生文教	3月13日	原案可決
議案第18号	平成14年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	民生文教	3月13日	原案可決
議案第19号	平成14年度甲府市病院事業会計補正予算(第1号)	民生文教	3月13日	原案可決
議案第20号	平成14年度甲府市下水道事業会計補正予算(第2号)	環境水道	3月13日	原案可決
議案第21号	甲府市男女共同参画推進条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第22号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第23号	甲府市職員健康保険組合条例を廃止する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第24号	甲府市文化振興事業基金条例等の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第25号	甲府市ホームヘルパー等派遣手数料条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第26号	甲府市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第27号	甲府市身体障害者福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第28号	甲府市知的障害者通所授産施設条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第29号	甲府市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第30号	甲府市学校職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第31号	甲府市市立の学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第32号	甲府市開発行為等の許可基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第33号	甲府市公害防止施設等設備資金貸付条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第34号	甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	予算特別	3月24日	原案可決
議案第35号	山梨県市町村自治センターを組織する地方公共団体の数の増減について	総務	3月13日	原案可決
議案第36号	山梨県市町村総合事務組合への加入について	総務	3月13日	原案可決
議案第37号	市道路線の認定について(桜井1号線)	経済建設	3月13日	原案可決
議案第38号	市道路線の認定について(中小河原築地新居線外4路線)	経済建設	3月13日	原案可決
議案第39号	市道路線の変更認定について(池添梅ヶ坪線)	経済建設	3月13日	原案可決
議案第40号	工事請負契約の変更契約締結について(新紺屋小学校屋内運動場増改築(建築主体)工事)	民生文教	3月13日	原案可決
議案第41号	甲府市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について	総務	3月13日	原案可決
議案第42号	収入役の選任について	総務	3月13日	同意
議案第43号	監査委員の選任について	総務	3月13日	同意
議案第44号	教育委員会委員の任命について	総務	3月13日	同意
議案第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	総務	3月13日	同意
議案第46号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	省略	3月24日	原案可決
議案第47号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	省略	3月24日	原案可決
甲議第1号	甲府市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	省略	3月24日	原案可決
甲議第2号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	省略	3月24日	原案可決
甲議第3号	甲府市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	省略	3月24日	原案可決